

東青地区における学校配置等の現状等

1 背景

(1) 地理的状況

東青地区は、青森市、平内町、今別町、蓬田村、外ヶ浜町の1市3町1村で構成され、鉄道等の状況は、東北新幹線、JR奥羽本線、JR津軽線・津軽海峡線、青い森鉄道が交わる交通の要衝となっている。

(2) 産業動向

経済活動別構成では県全体と比べると、卸売・小売業やサービス業の割合が高く、農業や製造業の割合が低くなっている。

2 学校規模・配置の現状

平成29年度

《全日制課程 11校》

普通科等：①7学級×2校、②6学級×3校、③2学級×1校、
④1学級×2校（校舎制導入校）

職業学科：①工業 7学級×1校、②商業 6学級×1校

総合学科：①5学級×1校

《定時制課程 2校》

普通科（3部制）：1校、工業技術科：1校

《通信制課程 1校》

普通科：1校

3 今後の中学校卒業者数の推移と全日制課程の学校規模の見込み

《生徒数》

平成30年度から39年度までの10年間で749人が減少する見込み

《学級数》

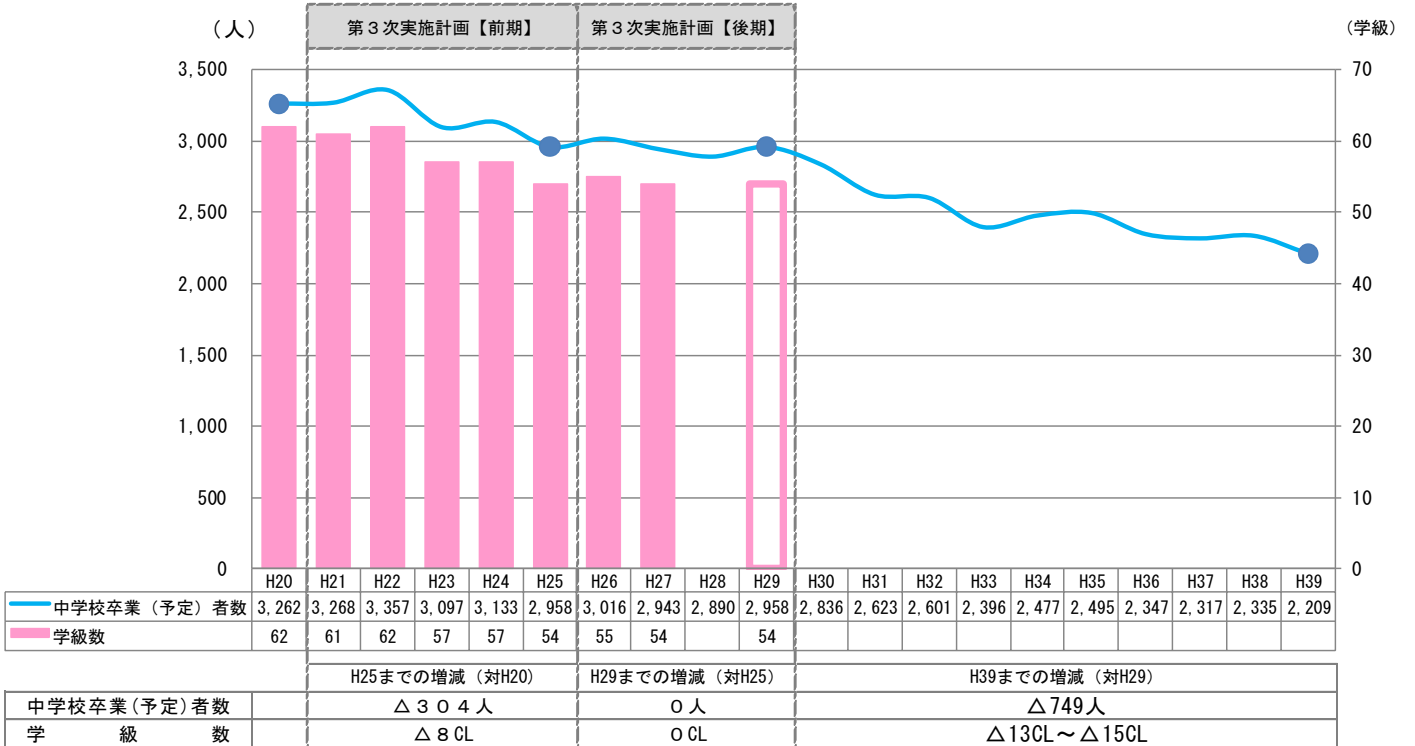
平成29年度 … 54学級

平成39年度 … 39～41学級（H29比 13～15学級減）

〔学級数は全日制課程における推移を表したもの〕

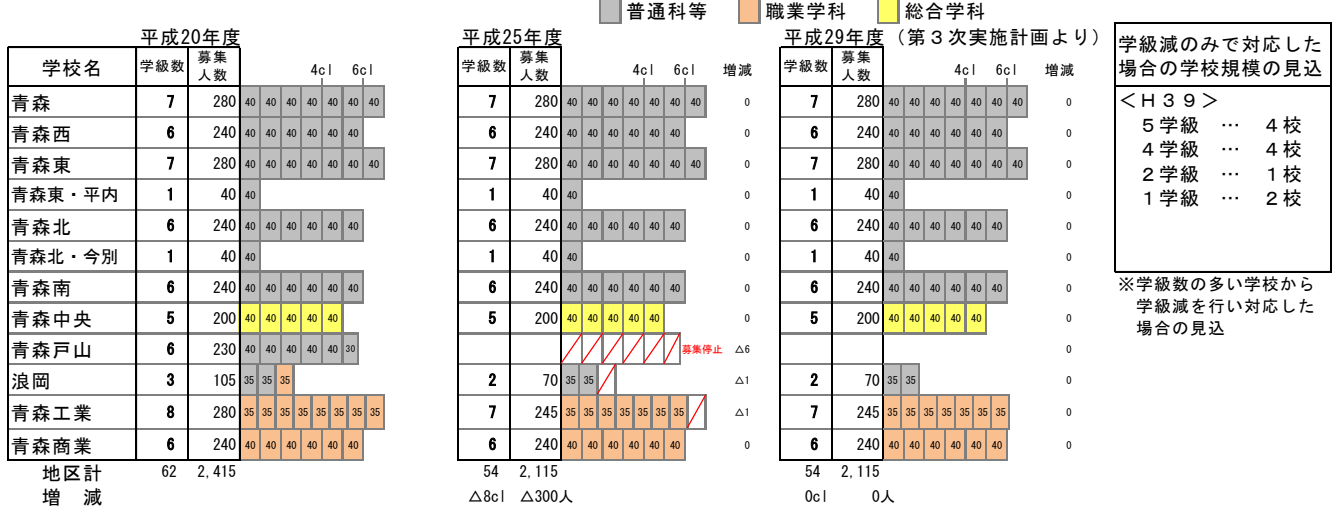
〔中学校卒業（予定）者数と学級数の推移〕

※ 中学校卒業予定者数は、県教育庁高等学校教育改革推進室推計値。



※平成29年度の学級数は、県立高等学校教育改革第3次実施計画【後期】によるもの。平成30年度以降の学級数は、これまでの高等学校進学率、他県・他地区との流入等との状況を勘案し、算出した。

〔各学校の規模の推移〕



西北地区における学校配置等の現状等

1 背景

(1) 地理的状況

西北地区は、五所川原市、つがる市、鱒ヶ沢町、深浦町、板柳町、鶴田町、中泊町の2市5町で構成されている。鉄道等の状況としてはJR五能線と津軽鉄道が生活路線となっている。

(2) 産業動向

経済活動別構成では県全体と比べると、農業や建設業、サービス業、政府等サービスの割合が高く、製造業や運輸業、情報通信業の割合が低くなっている。

2 学校規模・配置の現状

平成29年度

《全日制課程 10校》

普通科等：①5学級×1校、②2学級×4校、③1学級×1校

職業学科：①農業 4学級×1校、②工業 4学級×1校

総合学科：①4学級×1校、②1学級×1校（校舎制導入校）

《定時制課程 1校》

普通科：1校

3 今後の中学校卒業者数の推移と全日制課程の学校規模の見込み

《生徒数》

平成30年度から39年度までの10年間で505人が減少する見込み

《学級数》

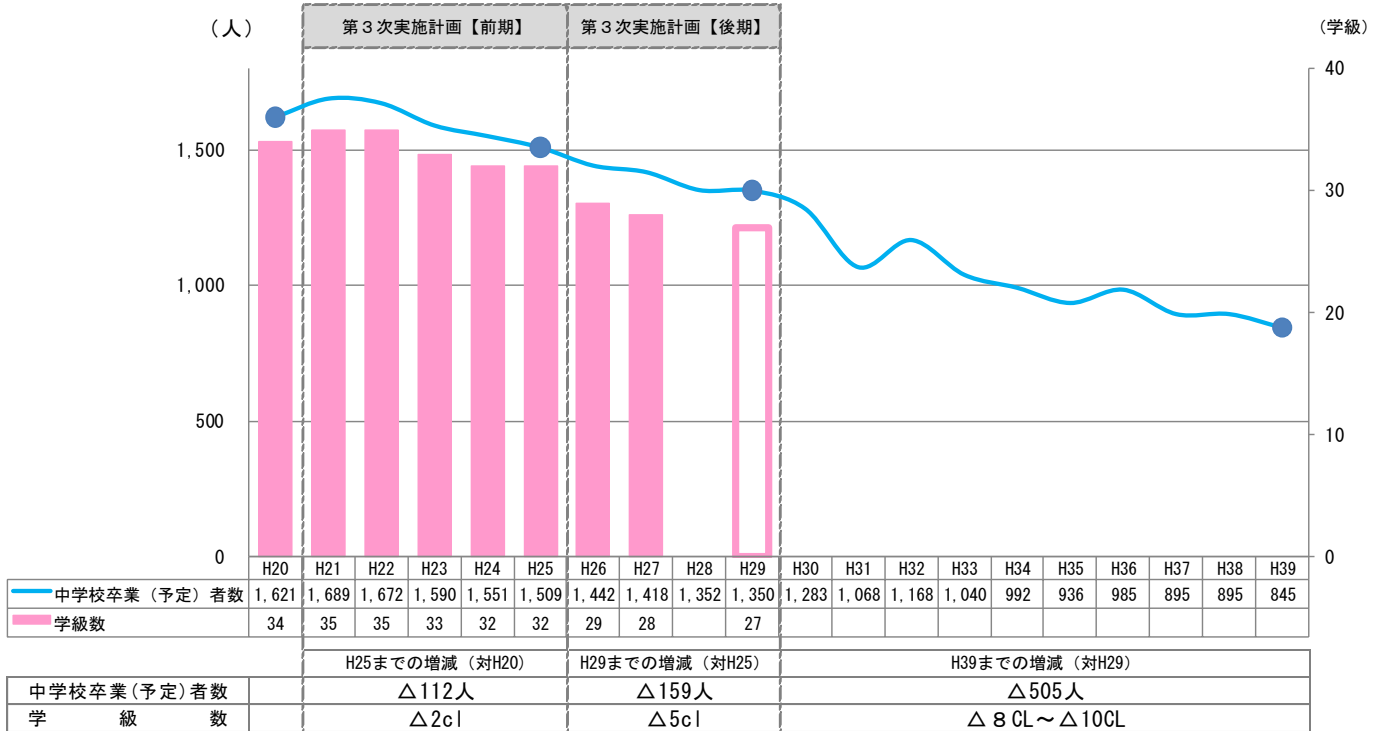
平成29年度 … 27学級

平成39年度 … 17～19学級（H29比 8～10学級減）

〔学級数は全日制課程における推移を表したもの〕

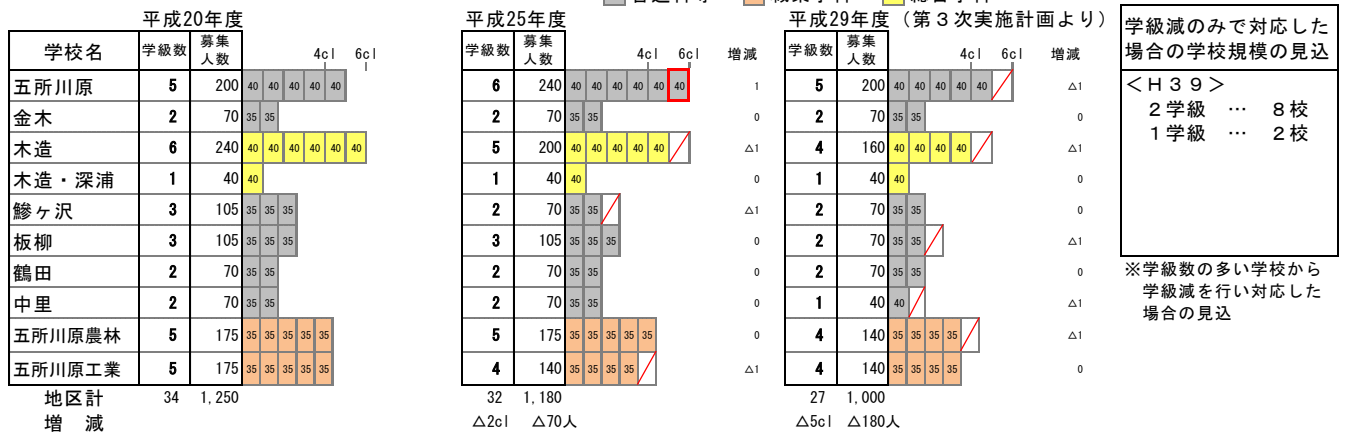
〔中学校卒業（予定）者数と学級数の推移〕

※ 中学校卒業予定者数は、県教育庁高等学校教育改革推進室推計値。



※平成29年度の学級数は、県立高等学校教育改革第3次実施計画【後期】によるもの。平成30年度以降の学級数は、これまでの高等学校進学率、他県・他地区との流出入等の状況を勘案し、算出した。

〔各学校の規模の推移〕



中南地区における学校配置等の現状等

1 背景

(1) 地理的状況

中南地区は、弘前市、黒石市、平川市、西目屋村、藤崎町、大鰐町、田舎館村の3市2町2村で構成され、鉄道等の状況としてはJR奥羽本線、JR五能線、弘南鉄道が運行している。

(2) 産業動向

経済活動別構成では県全体と比べると、サービス業や不動産業、卸売・小売業などの割合が高く、製造業の割合が低くなっている。

2 学校規模・配置の現状

平成29年度

《全日制課程 8校》

普通科等：①6学級×3校、②4学級×1校（うち1学級は看護科）

職業学科：①農業 4学級×1校、②工業 7学級×1校、

③商業 4学級×1校、

④商業等 7学級×1校（農業1学級、商業3学級、家庭2学級、
スポーツ科学1学級）

総合学科：なし

《定時制課程 2校》

総合学科（3部制）：1校、工業技術科：1校

《通信制課程 1校》

普通科：1校

3 今後の中学校卒業生数の推移と全日制課程の学校規模の見込み

《生徒数》

平成30年度から39年度までの10年間で625人が減少する見込み

《学級数》

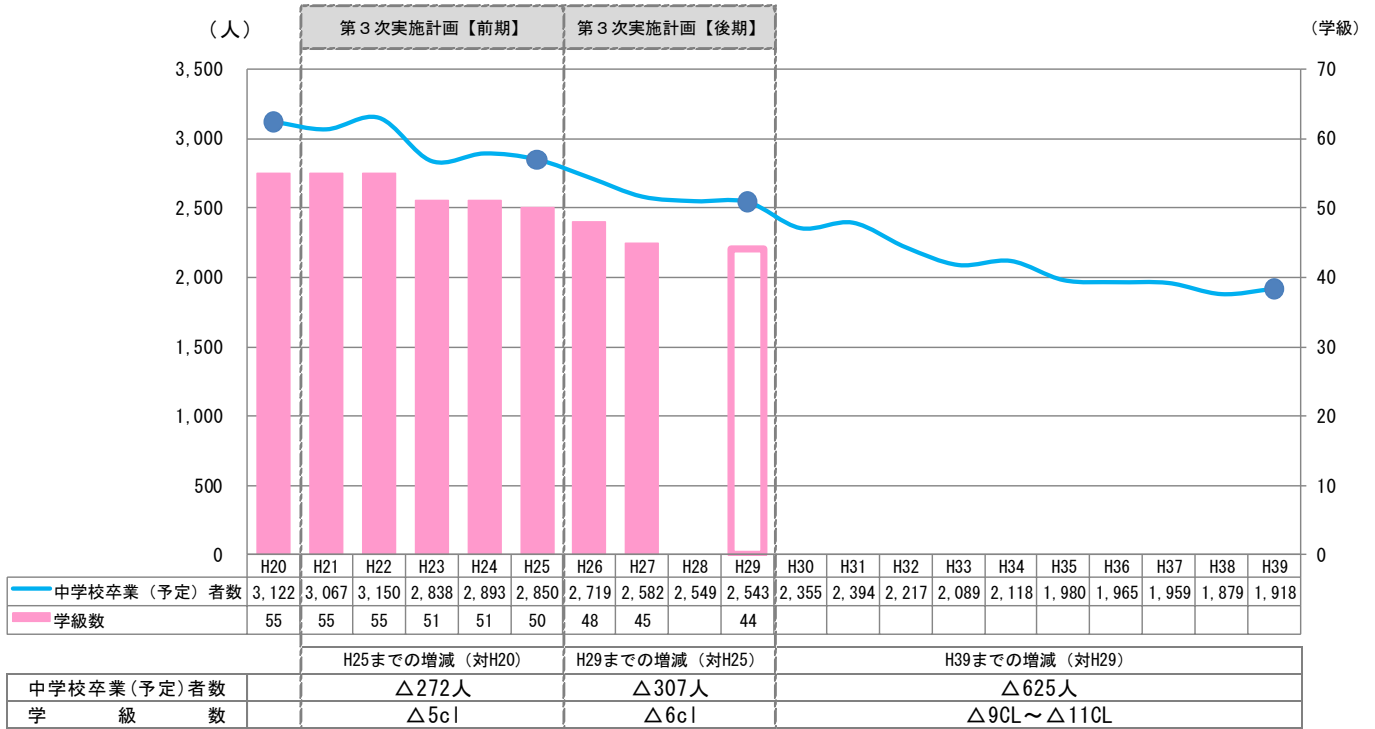
平成29年度 … 44学級

平成39年度 … 33～35学級（H29比 9～11学級減）

〔学級数は全日制課程における推移を表したもの〕

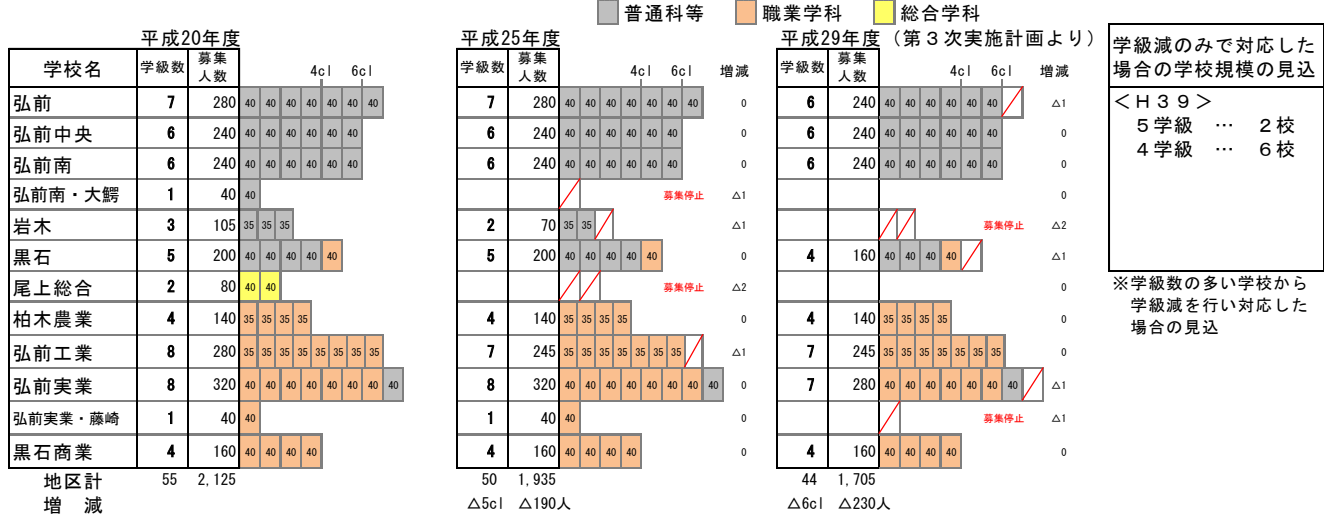
〔中学校卒業（予定）者数と学級数の推移〕

※ 中学校卒業予定者数は、県教育庁高等学校教育改革推進室推計値。



※平成29年度の学級数は、県立高等学校教育改革第3次実施計画【後期】によるもの。平成30年度以降の学級数は、これまでの高等学校進学率、他県・他地区との流出入等の状況を勘案し、算出した。

〔各学校の規模の推移〕



上北地区における学校配置等の現状等

1 背景

(1) 地理的状況

上北地区は、十和田市、三沢市、野辺地町、七戸町、六戸町、横浜町、東北町、六ヶ所村、おいらせ町の2市6町1村で構成され、鉄道等の状況としては東北新幹線、青い森鉄道、JR大湊線が運行。

(2) 産業動向

経済活動別構成では県全体と比べると、製造業、農業の割合が高く、サービス業や卸売・小売業、政府等サービス、不動産業などの割合が低くなっている。

2 学校規模・配置の現状

平成29年度

《全日制課程 11校》

普通科等：①6学級×2校、②4学級×1校（うち1学級は家庭科）、
③3学級×1校、④2学級×2校、
⑤2学級×1校（うち1学級は商業科）

職業学科：①農業 5学級×1校、②工業 5学級×1校、
③商業 4学級×1校

総合学科：①4学級×1校

《定時制課程 1校》

普通科：1校

3 今後の中学校卒業生数の推移と全日制課程の学校規模の見込み

《生徒数》

平成30年度から39年度までの10年間で459人が減少する見込み

《学級数》

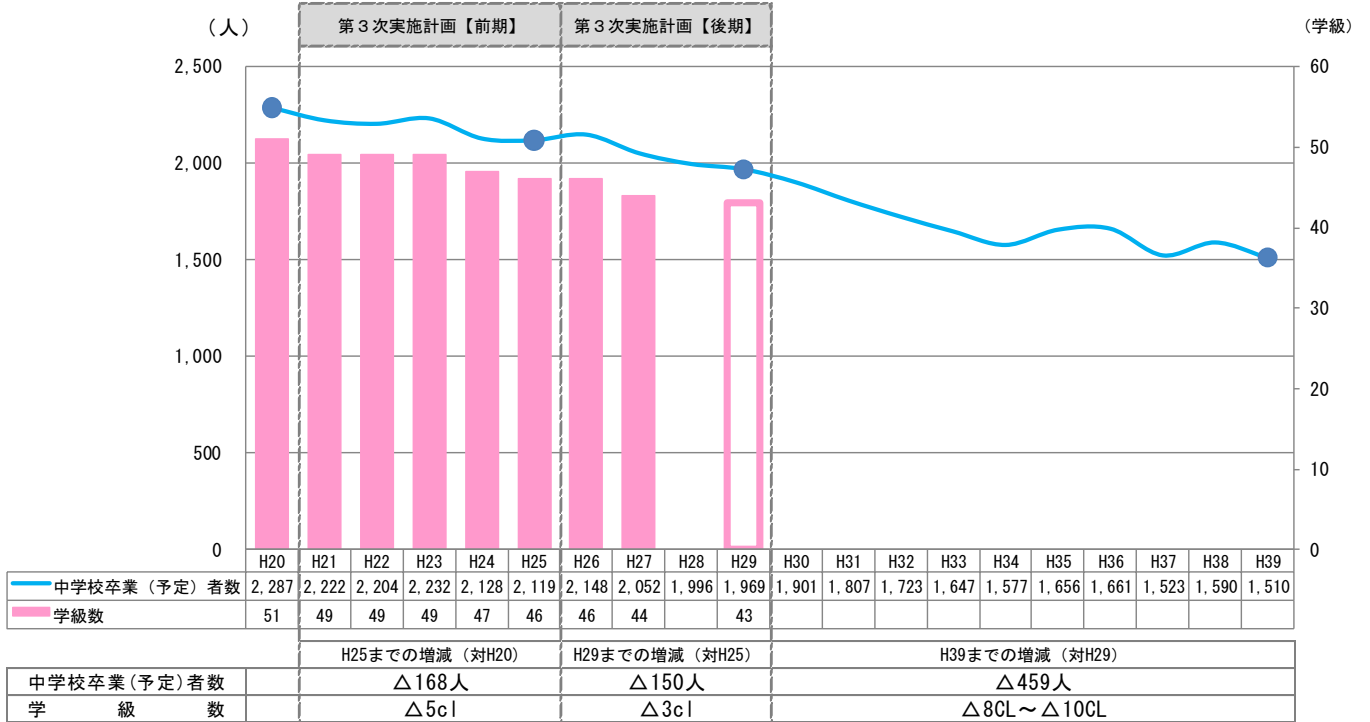
平成29年度 … 43学級

平成39年度 … 33～35学級（H29比 8～10学級減）

〔学級数は全日制課程における推移を表したもの〕

〔中学校卒業（予定）者数と学級数の推移〕

※ 中学校卒業予定者数は、県教育庁高等学校教育改革推進室推計値。



※平成29年度の学級数は、県立高等学校教育改革第3次実施計画【後期】によるもの。平成30年度以降の学級数は、これまでの高等学校進学率、他県・他地区との流出入等の状況を勘案し、算出した。

〔各学校の規模の推移〕



下北地区における学校配置等の現状等

1 背景

(1) 地理的状況

下北地区は、むつ市、大間町、東通村、風間浦村、佐井村の1市1町3村で構成され、鉄道等の状況としてはJR大湊線が運行。

(2) 産業動向

経済活動別構成では県全体と比べると、電気・ガス・水道業、政府等サービスや建設業の割合が高く、製造業やサービス業の割合が低くなっている。

2 学校規模・配置の現状

平成29年度

《全日制課程 5校》

普通科等：①5学級×1校、②2学級×1校、③1学級×1校（校舎制導入校）

職業学科：①工業 4学級×1校

総合学科：①5学級×1校

《定時制課程 1校》

普通科：1校

3 今後の中学校卒業者数の推移と全日制課程の学校規模の見込み

《生徒数》

平成30年度から39年度までの10年間で176人が減少する見込み

《学級数》

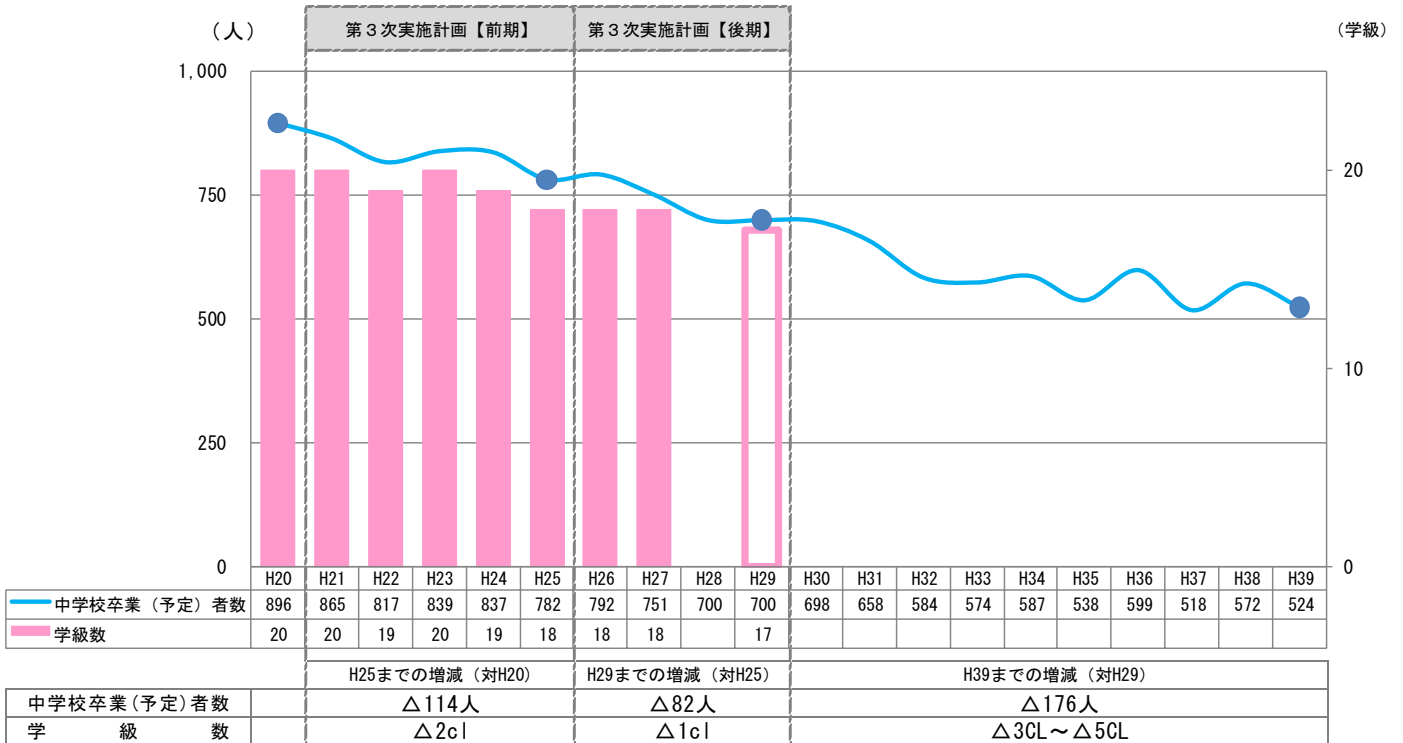
平成29年度 … 17学級

平成39年度 … 12～14学級（H29比 3～5学級減）

〔学級数は全日制課程における推移を表したもの〕

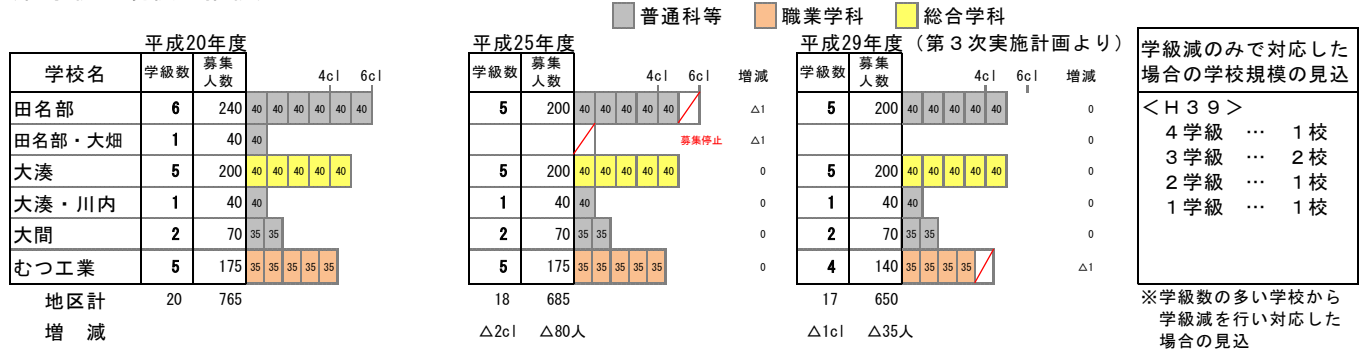
〔中学校卒業（予定）者数と学級数の推移〕

※ 中学校卒業予定者数は、県教育庁高等学校教育改革推進室推計値。



※平成29年度の学級数は、県立高等学校教育改革第3次実施計画【後期】によるもの。平成30年度以降の学級数は、これまでの高等学校進学率、他県・他地区との流出入等の状況を勘案し、算出した。

〔各学校の規模の推移〕



三八地区における学校配置等の現状等

1 背景

(1) 地理的状況

三八地区は、八戸市、三戸町、五戸町、田子町、南部町、階上町、新郷村の1市5町1村で構成され、鉄道等の状況としては東北新幹線、青い森鉄道、JR八戸線が運行。

(2) 産業動向

経済活動別構成では県全体と比べると、製造業、卸売・小売業、運輸業、サービス業の割合が高く、建設業や政府等サービスの割合が低くなっている。

2 学校規模・配置の現状

平成29年度

《全日制課程 11校》

普通科等：①6学級×3校、②5学級×1校、③2学級×2校、
④1学級×1校、

職業学科：①農業 3学級×1校、②工業 7学級×1校、
③商業 3学級×1校、④水産 3学級×1校

総合学科：なし

《定時制課程 2校》

普通科（3部制）：1校、工業技術科：1校

《通信制課程 1校》

普通科：1校

3 今後の中学校卒業者数の推移と全日制課程の学校規模の見込み

《生徒数》

平成30年度から39年度までの10年間で529人が減少する見込み

《学級数》

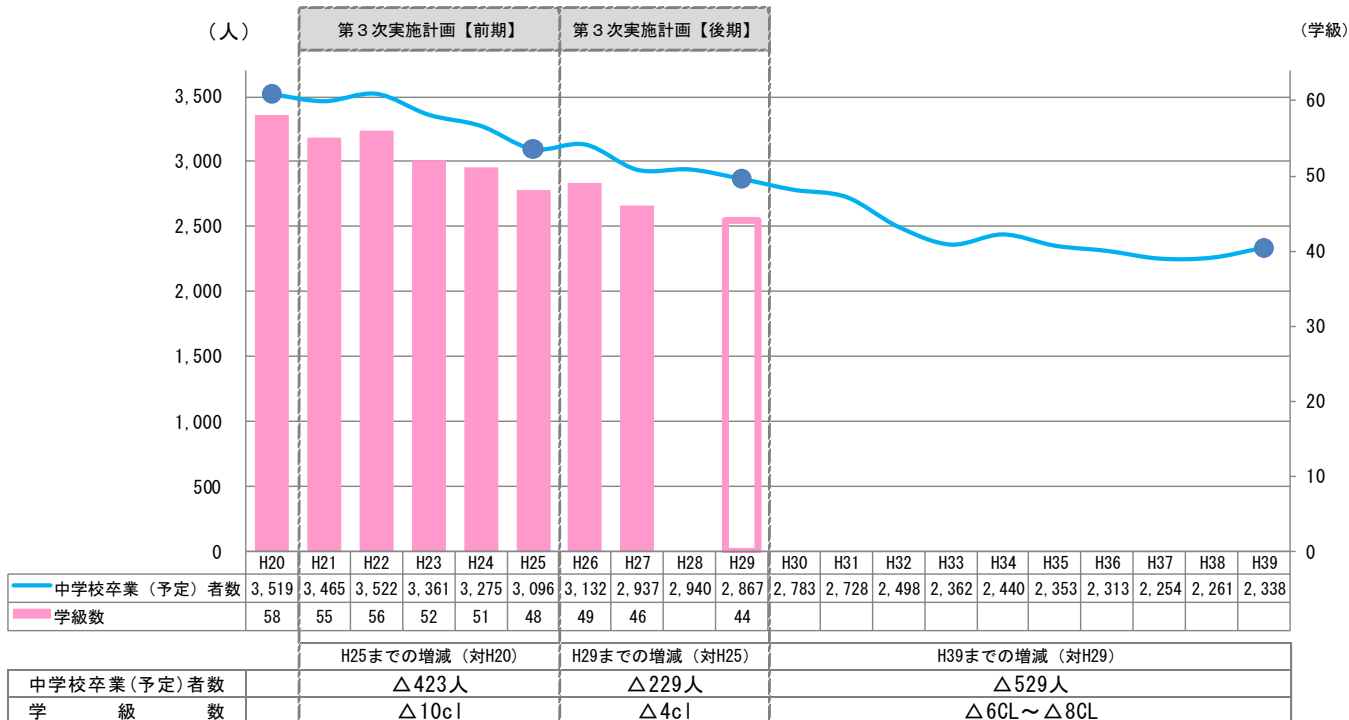
平成29年度 … 44学級

平成39年度 … 36～38学級（H29比 6～8学級減）

〔学級数は全日制課程における推移を表したものの〕

〔中学校卒業（予定）者数と学級数の推移〕

※ 中学校卒業予定者数は、県教育庁高等学校教育改革推進室推計値。



※平成29年度の学級数は、県立高等学校教育改革第3次実施計画【後期】によるもの。平成30年度以降の学級数は、これまでの高等学校進学率、他県・他地区との流入等々の状況を勘案し、算出した。

〔各学校の規模の推移〕

